

番号	26	名称	あんこう鍋 いせ源本館
指定日	平成 15 年 6 月 9 日	所在地	神田須田町一丁目 11 番地
設計者	大國	竣工	昭和 7 年 (1932)



歴史・文化的特徴

明治初期に武家地を開発してつくられた地域に位置している。近くにあった筋違橋門内の広場は八路ヶ原と呼ばれ、交通の結節点であった。明治 45 年 (1912) ここに万世橋駅が建設され、もっとも賑わう場所となった。地域の南側には、昭和 3 年まで青果市場があり、活気のある場所でもあった。

周辺には老舗の飲食店が多く、いせ源もそのひとつである。昔ながらの情緒を漂わせている。

東京都選定歴史的建造物に選定されている。

意匠・構造の特徴

入母屋造りと 2 階の欄干に施された菱形模様の彫りが特徴。木製の看板は建築当時から使用 (平成 8 年 (1996) 補修済) しているもの。

外壁はモルタルで塗り込められているが、創建当時より防火のためにこのような材質を用いたと思われる。

周辺景観との関係

周辺にも老舗の飲食店が多く、老舗街のイメージに合った景観を形成している。

2 階は欄干のある開放的な窓から、店内の雰囲気やを滲み出しており、1 階にも塀はなく、道路から和風の建物の味わいをよく見ることができる。

角地にあり、建物全体がアイストップの役割を果たしている。